

中央エリア歳時記 (イベントスケジュール)

イベント名の後に記載の数字は、えどがわ百景の番号です。裏面のマップで位置を見て下さい。

- 4月 江戸川中央商店会まつり **43**
- 5月 中央地域まつり (小松川境川親水公園)
- 6月 環境フェア (総合文化センター)
- 7月 東善寺 あさがお市
- 7月 江戸川「食」文化の祭典 (総合文化センター)

松江大通り商店街の3りんしゃグランプリ **42**



43 桜満開 江戸川中央商店会まつり



42 松江大通り商店街の3りんしゃグランプリ

※開催時期は変更となる場合があります

今昔物語 小松川境川親水公園

21 木の香漂う小松川境川親水公園 自然豊かな水辺の復活

かつての水路は、農業用水や水上交通路として重要な役割を担っており、江戸川区内の水路の延長は、420kmにも及んでいました。しかし、戦後の高度経済成長による急速な都市化の進展によって、水路は生活排水の流れるドブ川と化し、環境の悪化が進むばかりとなっていました。

そのような環境から、自然豊かな水辺を復活させるべく、親水公園の整備を進め、親水公園第1号の古川親水公園に続き、昭和60年に、小松川境川親水公園が完成しました(一部は、昭和57年に完成)。現在、江戸川区には23路線、約27kmに及ぶ親水公園・親水緑道が整備され、地域の貴重な憩いの場となっています。



昔の農業用水路 (昭和15年頃)



以前の小松川境川 (昭和40年代)



親水公園として生まれ変わった水路 (現在)

歴史探訪 河原道ってなあに?

江戸時代の道～河原道～

かつて、江戸川の対岸、下総国河原村へ渡る河原の渡しが下篠崎村にありました。区内には、この河原の渡しへ至る道がいくつかあり、分岐点には河原道を示す道標がありました。

今回の中央エリア北コース(裏面参照)は、そんなかつての河原道の道筋が今なお残っている箇所を歩くコースとなっています。ぜひ、タイムスリップした気持ちになって、歩いてみてください。

江戸時代の交通図 (川は現在のもの)



えどがわ百景とは

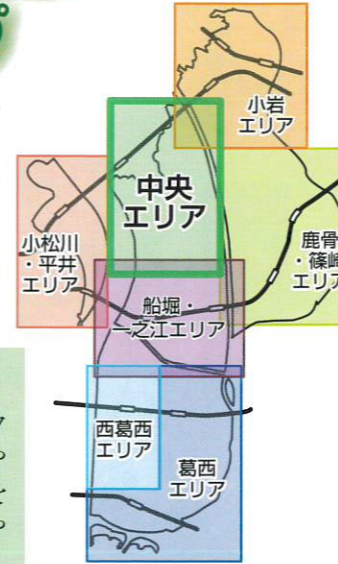
江戸川区では、まちの魅力をもっと高めるため「好きな景観」や「気になる景観」を募集し、平成22年に「えどがわ百景」を選定しました。その後見直しを行い、平成30年4月より133の景観ポイントを「えどがわ百景」として位置付けています。



えどがわ百景 探訪マップ

えどがわ百景をより楽しんでいただくため、エリア毎に「えどがわ百景探訪マップ」を作成しています。

マップは各区民館やコミュニティ会館などで配布しています。

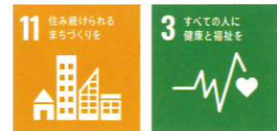


徒歩の駅とは

様々な地域資源ネットワークで結び、途中で情報交流やお休み処として徒歩の駅を設定しています。手洗所やベンチがあります。



江戸川区は、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、SDGsに積極的に取り組んでいます。17あるゴールの中で、えどがわ百景事業はNo.11「住み続けられるまちづくりを」、探訪マップでまちあるきをするのは、No.3「すべての人に健康と福祉を」につながります。



発行日：平成30年4月
改定日：令和3年12月
発行：えどがわ百景幹事会
事務局：江戸川区都市開発部都市計画課
電話 03-5662-6369

作成協力：景観まちづくりワークショップ <徒歩の駅グループ>
作成支援：街づくり推進コンサルタント派遣制度
参考文献：「江戸川区の史跡と名所」平成20年1月 江戸川区教育委員会
「理想のまちづくり半世紀の航跡江戸川区政50年史」平成13年3月江戸川区

中央エリア

えどがわ百景

探訪マップ

